

平成31年度

事業計画書

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

2019 年度事業計画書

1. 2019 年度事業の実施方針

今上天皇ご退位により 5 月から新しい年号となります。国及び皇室の諸行事等が前倒ししてまいりますので、当館恒例の第 1 3 回清明茶会は、一週早めて 4 月第 2 日曜日の 1 4 日開催といたします。地域づくりの一環としての事業でもある清明茶会も 1 3 回と会を重ねてまいりました。近年、生活様式の変化や価値観などが変わっても、茶の湯に触れる事で日本の様々な生活文化や知恵を知ることが出来ます。恒例となった清明茶会を勝山城博物館から発信し、茶道文化の魅力や価値をより多くの人々に認識していただければと思います。

勝山市との連携事業、第 6 回特別展覧会は勝山市ゆかりの書家西脇呉石を取り上げます。呉石は書学の世界では名のある重要人物で、西脇家から直々にご寄託いただいた書、軸、南画、屏風、扁額や愛用品など展示し、その実像にふれていただきます。そして書道の魅力をより知っていただくためにも、興味深い視点と専門性の高い情報を活かし、その魅力を楽しくお伝えする事が出来ればと思います。この呉石展を通して全国に広がる呉石流のお弟子さん方に呉石の故郷である勝山を身近に感じていただけるように、また呉石ご親類縁者の皆様方にも呉石の故郷づくりに積極的にご支援をお願いしたいと思います。

いま一つの勝山市との連携事業、第 1 4 回絵画作品展「お城を描こう」は、今回も情報を広く社会に向けて発信し作品を募集します。近年の少子化に伴い今後参加者が減る事を見込み、一般の方の作品も応募を受付けております。当館に展示後、ショッピングセンター・サンプラザの 1 階展示広場に金、銀、銅の入賞者のみを飾り、多くの皆様にご覧いただき勝山城をアピールします。サンプラザにお買い物にみえる子どもから大人まで、幅ひろく絵画のロマンをお楽しみいただきます。

勝山城のお誕生日は特別展開幕に会わせて左義長櫓の前で園児達に歌やお遊戯等をしていただき誕生日を祝います。8 月には夕涼みがてらお天守から見る恒例の勝ち山夏物語納涼花火大会。そして板についてまいりました秋の「お城でゴスペル」。今回で 7 回目の公演となりますが、軽快な音楽とステージパフォーマンスで観客を引き込み、流れるようなメロディーで魅了させてくれます。最後の締めくくりが、「新春特別陳列・新収品展」。その他、主な文化・貸し館事業、勝山城友の会事業活動が今年の実業となっております。

クローバーグループ事業「俳句」・・・ちやまを詠む・・・は、ゆめおーれ・越前大仏・まほろば・勝山城博物館の4館の共同事業で 今期も各施設に投句箱を設置し、春夏・秋冬の2回投句箱を開けそれぞれ入賞者を選者に選考していただき、賞状と賞金を郵送します。尚、入賞者の詩句は四館に1ヶ月ずつ交代で飾られます。ゆめおーれ行事案内チラシにも毎月入賞者の詩句が掲載されます。

勝山城博物館も勝山市との連携で事業活動の内容も大きく開けてまいりました。今後はより内容を充実させていくことを考え、企画展など予算的に制約のある中でございますが、いかに興味深いものをお披露目していくか、今期も無限に広がる未来に向けて頑張っております。

2. 事業の概要

(1) 主な事業

①クローバーチケット連携「俳句」ちやまを詠む

応募期間（春夏期） 2019年3月1日(金)～8月31日（土）

（秋冬期） 2019年9月1日(日)～2020年2月29日（土）

入賞者発表（春夏期）2019年9月上旬

（秋冬期）2020年3月上旬

クローバーチケットで連携を結んでいる、ゆめおーれ勝山・越前大仏清大寺・探遊館まほろば・勝山城博物館の4館に俳句の投句箱を設置します。古くから俳句が盛んであった勝山にふさわしいイベントとして、各施設の来館者に自由に俳句を詠んでいただき、勝山の文物や自然をより楽しんでいただけるよう企画しています。

②平成お天守塾 第13回「勝山城清明茶会」

日程 2019年4月14日(日)

毎年恒例となりました、北陸最大規模のお茶会「清明茶会」を開催いたします。各流派をお招きし、濃茶席・煎茶席・野点席・点心席を設けた茶会となります。ここまで継続してきたことが実を結び、今回は勝山市からの人員的な応援を受けることと、「うまいもんまつり」を同時に開催できる見込みとなっております。より広い客層へ当館をアピールできる絶好の機会として位置付けています。

③勝山市・勝山城博物館連携第6回共催展

生誕140年記念「福井の偉人 書家西脇呉石～研ぎ澄まされた心と線～」

日程 2019年7月20日(土)～9月30日(月) 会期中無休

2013 年から作品をお預かりし調査を進めてきた、勝山出身の書家である西脇呉石（1879～1970）の展覧会を開催いたします。大正年間の国定書き方教科書を書いた人物として著名な呉石ですが、その芸術書はこれまで注目されてきませんでした。今回はその日展や毎日書道展出品作を多数展示するほか、初公開資料も多く展示いたします。

昨今ようやく専門の学会でも明治時代の書家が注目されるようになり、ますます重要視されていくであろう呉石を紹介することで、県の内外からの来客を見込みます。

④平成お天守塾 「勝山城のおたんじょうび」

日程 2019年7月20日(土)

平成4年7月19日に勝山城博物館は開館しました。27歳となる7月19日前後にそのお誕生日祝いのイベントを行います。

⑤納涼花火大会見物&ナイトミュージアム

日程 2019年8月14日(水)午後7時から9時30分まで

当館展望台に特別観覧席を設け、花火見物をお楽しみいただきます。同時にナイトミュージアムとして展示室も観覧可能とし、通常見ることのない夜の博物館も楽しめる企画です。

⑥平成お天守塾 「お城でゴスペルⅦ」

日程 2019年10月前半の日曜日

地元で行われているゴスペルグループの発表の場として、7回目となるゴスペルコンサートを開催いたします。地元グループを中心とした音楽イベントを行うことで、音楽を通じた文化的教養の発信拠点としても認知いただける機会となっております。

⑦勝山市・勝山城博物館連携 第14回絵画作品展「お城を描こう」

日程 絵画作品募集期間 2019年7月7日(日)～10月6日(日)

表彰式 2019年11月3日(日) 2階障壁画ホール

展示会 2019年11月3日(日)～11月24日(日)

長年の積み重ねが評価され、第12回から勝山市の観光政策課と連携開催となりました。県外からの応募もある本企画は、子供から大人まで気軽にご応募でき、展示会には毎回多くの親子連れに足を運んでいただいております。

⑧新春特別陳列・新収品展

日程 2020年1月2日(木)～1月31日(金) (水曜通常休館)

近世絵画は光や湿度など外部環境に非常に敏感であるため、限られた期間しか陳列することができません。カビや虫の不安も少なく、かつ客足が落ちる雪の時期に少しでも来館者を呼び込めるよう、新春に毎年恒例の特別陳列を行います。同時に、新たに当館の収蔵品に加えられた貴重な品々も同時に公開いたします。

(2) 主な貸館事業

①月例茶会の開催

期間 5、7、9、11月の第1日曜日 (計4回)

会場 2階和室「蘭月の間」

協賛 勝山市茶道連合会

当日ご来館いただいたお客様にお声掛けをし、和室にて本格的な薄茶もしくは煎茶を提供いたします(要別料金)。茶道に親しみ博物館への理解を深めていただける機会を提供いたします。

この他にも、随時当館の文化事業として相応しいイベントについて利用の働きかけを行うとともに、貸館の申し込みを受け付けます。今年度もピアノ教室の発表会などでの利用が見込まれます。

(3) 学芸活動

①燻蒸作業は、特別展開催のための作品搬入時に、燻蒸庫を利用して行います(費用は館から立て替え、後に市から規定の利用料を加えて全額振り込まれます)。館蔵品につきましても、特別展展示作品と同時期に燻蒸庫を利用して燻蒸を行うほか、専用の防虫剤・調湿財の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。

当館の知名度向上に伴い作品寄贈や寄託も増えた一方、収蔵庫や展示室の大規模燻蒸は近年行われていないため、開館30周年を目処に一度燻蒸計画を立てる必要があると考えております。

②調査研究活動では、引き続き研究会や所属学会への参加を通じて各地の学芸員や研究者との繋がりを確保し、日本博物館協会の全国大会にも参加することで、館としても県内外の機関のネットワークに確実に認知されるよう活動してまいります。何を得意する機関であるか知っていただくことで、作品貸し出しやその使用料収益、ひいては来館者増にもつながるものと考えております。

③平常展示では、3階平常展示の定期的な入替えを実施します。甲冑類

は原則そのままに、装束と刀剣の入替えをメインといたします。銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍の入替えもできるだけ行ってまいります。また、本年度特別展覧会終了後、4階中国刺繍展示室の展示ケース配置を一部変更し、常設の西脇呉石展示コーナーを設けます。

- ④特別展では、主に勝山市教育委員会史跡整備課の職員と連携し、公益財団であるからこそできる展覧会を企画・展開してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすい展示方法を模索いたします。

(4) 勝山城友の会活動

- ① 総会・講演会の開催 5月9日(木)(講師未定)
- ② 館外研修旅行 5月28日(火)～29日(水)(三重県伊勢市・愛知県名古屋方面)
- ③ 館外研修写真アルバムの編集・発行
- ④ 友の会だより第26号の編集・発行
- ⑤ 写真や版画など各種教室
- ⑥ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

(5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。勝山市との共催事業については「広報かつやま」への紹介や、チラシの全戸配布などもご協力いただく予定です。また、当館ホームページや公式ツイッターも利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、特別展では新聞折り込みや広告の掲出も検討いたします。

3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例理事会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算)
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算)